

第3期宮前区区民会議 第10回 地参知笑部会 摘録

日 時 平成23年11月2日(水) 18:00~20:00

場 所 宮前区役所 第2会議室

参加者 委 員 持田部会長、恒川副委員長、山下委員長、河井委員、久保委員、
高橋委員、平井委員、直本副委員長(オブザーバー)
事務局 有山企画課長、雨宮係長、白石職員
佐谷コンサルタント

1 前回の振り返り

持田 摘録については見ていただいて修正等あれば知らせてほしい。

2 提案素案の検討について

持田 来年度の講座の講師候補である麻生区の岩倉さんに事務局が会ってきたということなので、その報告をしてほしい。

区 (報告)

持田 次に提案素案(案)を説明してほしい。

区 (説明)

持田 「背景と課題」についてはこれでよいと思うがどうか。

一堂 これでよい。

持田 「提案」の部分はどうか。

久保 「コンテンツのイメージ」が入っているのはいいと思う。

持田 スケジュールのところはどうか。講座名はどうか。

久保 この前の話し合いを受けてよくまとまっていると思う。

平井 主旨が書かれているのでいいと思う。

河井 参加費はどうか。

区 参加費は無料だが、取材の交通費等は自腹になると思う。

持田 「作成協力」についてはどうか。区民会議委員が必要に応じて関わるということが書かれている。

久保 つなぎ役として関わるということか。

持田 そうだと思う。坂道部会にも協力してもらいたいと思っている。

平井 講座の対象はどうなっているのか。

恒川 新百合の場合は若い人が関わっているようだが。

高橋 大学のゼミとしてやっていると思う。

区 岩倉さんの話では、大学生は1年間モチベーションを保って継続したり、次年度も継続して関わってもらったりすることが難しいので、コアになる人は、地域に根付いている人を養成した方がいいのではとのことだった。

平井 大学生にこだわる必要はないと思う。子育て中の人や定年退職した人でもいいのではないか。

高橋 主婦の人たちを対象とした場合、集まるのか？

久保 やり方だと思う。既にやっている人たちのレベルアップや、子育てで鬱屈している

第3期宮前区区民会議 第10回 地参知笑部会 摘録

人が地域と関わるきっかけとなるといいと思う。それには保育が付いた方がいい。また、NPOにするなら商業ベース的な部分もある。

平井 私の中にはガイドブックのガイドというイメージがずっとある。商業ベースのものと違うのではないかと思う。

持田 講座名はどうか。「みやまえ情報サポーターズ養成講座」でいいか。

直本 サポーターズという言葉が入ると引いてしまうのではないか。

高橋 雑誌をつくるのが伝わる講座名がいいのではないか。

恒川 「宮前区の魅力や楽しみ方を発信しよう」というイメージがある。

高橋 冊子なのか雑誌なのか。

久保 雑誌の方が楽しいイメージがある。

山下 情報誌作成講座というのはどうか。

持田 「宮前区を紹介する雑誌を作成する講座」として副題を「宮前区の魅力や楽しみ方を発信しよう」としてはどうか。

山下 岩倉さんを中心として講座を組み立てるということでいいのか。

区 岩倉さんにプログラムを監修してもらう予定である。宮前区の人材を組み込むことは伝えたい。

平井 タウンニュースの人も入れてもいいのではないか。

高橋 「カンガルー宮前子育てねっとわーく」の人なども入れてもらえるといいのではないか。

平井 商業ベースでなく、基本を教えてもらいたい。

持田 一度、話し合いをしたらいいのではないか。

高橋 印刷する人を決めた方がいいのではないか。

区 印刷会社のデザイナーにも入ってもらう予定である。

恒川 サポーターズという言葉に抵抗があるのか。

直本 サポーターにならないといけないという敷居が高くなるのではないか。

恒川 目的がはっきりしていた方がいいと思う。「宮前情報誌作成を」入れた方がいいのではないか。

久保 情報誌だけでなく、ツイッターなどの情報発信もあるのではないか。

高橋 「記者」「出版」「放送局」などの言葉がいいのではないか。

区 情報誌をつくるに重きをおくか、サポーターズに重きをおくか。

久保 現在のチラシでいいと思う。

平井 転入者に配るとか、1万部作る等の雑誌の内容をチラシに書いた方がいい。

高橋 全15回でいいのか。また、人数はどの程度なのか。

区 講義とグループワークで構成されると思う。

恒川 「継続して・・・」をとって、雑誌を転入者に配布することを書いてはどうか。

高橋 メールやパソコンができない人が来ることも考えられる。

恒川 対象者はあまり制限しない方がいいと思う。

平井 チラシにあるように文章や写真、イラスト、パソコンなどいろんな人が集まるというところでいいのではないか。

持田 「みやまえ情報サポーターズ養成講座」という名称とする。対象をどうするか。

第3期宮前区区民会議 第10回 地参知笑部会 摘録

- 恒川 午後2時から講座をやると男性ばかりになる。
- 平井 平日なら主婦層になる。平日の午前中がいいのではないか。
- 高橋 4月から始まると桜の写真などが入れられない。
- 平井 既にやっているところから情報をもらってくればいいのではないか。
- 直本 回数は多めに書いておいた方がいいのではないか。
- 恒川 毎週やるか、月2回かなどもあると思う。月2回ぐらいやった方がいいのではないか。
- 高橋 インターネットに関する講座は1～2回か。
- 恒川 市民館と相談してもらって決めてもらいたい。
- 区 1月の部会までにはプログラムが決まると思う。
- 久保 フォーラムでも募集したい。
- 区 市民館の担当によると、人数は20名ぐらいのイメージだと言っていた。
- 佐谷 インターネットでツイッター等を学ぶとなると教室に個々人がパソコンができる環境が必要となると思う。それが難しいようであれば、雑誌がメインとなる。
- 久保 お母さんたちは動画とかツイッターとか、フェイスブックに興味があるので、それも入れておいてほしい。

3. その他

- 区 1月の部会の日程は、後日調整する。